_			7	FIXA I サは	ZIJ LIX	一世ピンー		<⊿	<del>'</del> 成 27 年	6 月 25 ⊨			
	評	価対象事業				評価者		会計課長	中野	卧 達夫			
							主管課	会計課					
会	計一	01 会計事務	务			定受託事務	関連課						
松合	計画	<u>-</u>	4.54.4.5%					.,					
	置付		行財政運営		施	策の方針	行財政運営	<u> </u>					
	事第	美の目的				2 平成26年度に実施した事業の概要							
対象	市職	員等				•現金及	  ・現金及び収入証紙の保管・出納を行うとともに、指定金融機関等のケ						
	ıl⇒ ⊐	土川の特にて	かわき 田油コンサル フェル				支払いについ	って、指導、連絡、	検査を行った	-0			
意 図	収入	収入支出の執行手続きを円滑に進めるため。						ì、冴昇書及び付ん 等に係る事務を行		以、例月現金出納格			
効果	審查	・出納事務を通	適正かつ効果的に執行す		・コンビニ収納等を実施した。								
	車者	美費等基礎デ				JL							
		データ区分	27年度当初予算	データ区	<b>区分</b>	26年月	法決算		/	備考			
データ		人口	177,243人	人		177,4				<ul><li>各年3月31日</li></ul>			
	<u>≁</u>	世帯数	80,676世帯	世帯	数	80,36	8世帯			(住民基本台帳)			
	の	事業の対象者数		事業の対象									
道 営 道 派 状 形	犬	当初予算(千円)	23,984	決算値(円		18,0			_/	=			
		国県支出金	0	国県支出		(	,			-			
		地方債 その他	0 2	地方侵		2				-			
		一般財源	23,982	一般財		18,0		+ /		=			
		人員配置数	8.5	人員配置		10		<del>                                     </del>		†			
		人件費(千円)	66,910	人 件 費(=	千円)	72,8	870						
	事	総事業費(千円)	90,894	総事業費(-	千円)	90,9	952						
経	業	市民1人当りの	513	市民1人当		51	3						
費運		経費(円) 対象者1人当り	010	対象者1人				+/					
	営	の経費(円)		の経費(				V					
4 評価結果 ※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択													
亚日	<b>せ</b> 264	<b>丰度事業実施</b>	(1)金融機関からの要望										
		っての課題	(2)コンビニ収納の運用』 (3)財務会計システムの				た検討						
			(1)伝送化未済の金融機							口解決			
		のために行っ	(2)コンビニ収納の連用を ス」の導入に向けた検託		た。また、ペイジーサービスのひとつである「口座振替受付サービ ■ 一部解決								
たゝ	⊬成2	6年度の取組	(3)財務会計システムの	財務会計システムの入替えに伴い、			職員等からの質問に対応した。また、運用上の課題について業						
			者と調整を行った。										
		決の課題 とな課題	(1)共通番号制に対応す (2)コンビニ収納以外の約				及び所得税派	原泉徴収事務の見	上直し				
		事業費に削減	<u></u> 余地はないか	也はないか			2. ない						
効≊	뚇 性	関連・類似事	業との統合はできないか	3. 統合できない									
		事業の実施に対する市民ニーズはあるか				9. 実施が義務付けられており(法廷受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない							
妥当	当性	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか				9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない							
		今後も市が実施すべき事業か				9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある							
右右	51. 1/生	事業の成果は得られているか				2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である							
有效	<i>J</i> ) IX	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか				3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している							
公立	平性	受益者負担は	公正・公平か	△.負担未導入	△-3. ⋚	を益者が特定	官できないたと	め、受益者負担を	求めることがつ	できない			
協	偛	古民笙と協働し	て事業を展開しているか	△.協働未実施	△-9. 美	<b>尾施が義務</b> 作	けけられており	)(法定受託事務等	等)、協働はな	じまない			
ממו	到	中以中に別域に	アで事業を展開しているが.	四. 伽倒不天地	協働実	施済の場合	のパートナー	_					
	業内 の方	□ a:事業内容を見直す ⇒ 見□ 拡大											
			b:事業内容は現状通りとする		内區容し	_							
		□ c:事業を休止又は廃止する				D				-L-VIII			
			と統合し、本事業は廃止	ニする =	<b>→</b>					事業へ統合			
予算模の			見模を拡大する 見模は現状維持とする	事業内容・予算規模の方向						確性が求められて			
			現場は現状維持とする 見模を縮小する	維持とする   昇規模の方向   性設定の理由		から今後も通	適切な執行に	努める必要がある	00				
9/1>	<u></u>		出納事務の実施に努め	スレレナ フェーローゲー	1燃合の	けナにへい	ア	計でい					
Tires	ā†	適めなな金の	山州尹扬い天旭に労め	マムこひに、収剤	ガズエリナ	ルハにづい	くつ 1友とも付き	ロリレ(V'\。					

比較事項	<b>烫・ベンチマーク</b> ( ┃	<u>. 75 F 3 7 F ⊏</u>	1/11件で氏則	四体との比較						
	M	** '	# .# +	7.12±		<b>#</b> /云和十	the . I . Mar	`= - +	- \4-1-	
<b>団体名</b> 鎌倉市 i		藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績										
比較事項					<u> </u>			<u> </u>		
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
				1 2007			.,,,,	~_ 7 11		
他市実績										
比較事項						<u> </u>				
団体名	鎌倉市									
11										
他市実績										
当該事業実施 他市比較に 考えが	:関する									
	をに係る指標 		/ <del>2                                   </del>	·	n+1)	単	0/ 指	標の	/++ <del>1</del>	
	収納率の向上に向			Ī		単 位	/O <b>似</b>	<u>向</u>	備考	
	を設定した理由 (口座振替率の向	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
上に伴い事務	の簡素化をすすめ	目標値		40.0	40.0	50.0	50.0	50.0		
る) 25年度36%—	÷50%	実績値達成率								
		廷队平				単		標の		
指標の内容				ı	<u> </u>	位	化	向	備考	
当該指標	を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
		目標値								
		実績値								
		達成率				<u> </u>	+6-			
指標の内容						単 位		標の傾向	備考	
当該指標	を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
		目標値								
		実績値								
		達成率								
指標の内容						単   位		標の 傾向	備考	
当該指標	を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
		目標値								
		実績値								
		達成率								
指標の内容						<b>単</b> 位		標の 質向	備考	
当該指標	を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
		目標値								
		実績値								
		達成率								
当該事業実施 指標の推移し 考えが	<mark>こ関する</mark> 常に正確	産性が求め	られていること	から、今後も適ち	可な執行に努め な執行に努め	53.				

□ 第3期基本計画前期実施計画重点事業 □ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業